

会 議 録 (1)

会 議 の 名 称	令和5年度 第2回入間市健康福祉センター運営協議会
開 催 日 時	令和5年8月30日(水) 午後7時00分 開会・午後8時20分 閉会
開 催 場 所	入間市健康福祉センター3階 301・302会議室
議 長 氏 名	入間市健康福祉センター運営協議会会長 山本 寛
出席委員(者)氏名	寺師 良樹 委員 花井 康行 委員 金子 明美 委員 竹下 郁代 委員 田中 利之 委員 星野ふみ子 委員 岩崎 廣司 委員 田邊 仁 委員 山本 寛 委員 丸藤 祐子 委員 大阪絵里子 委員 藤牧 利昭 委員 高橋恵美子 委員 青木 菜摘 委員
欠席委員(者)氏名	鎌田 千秋 委員
説明者の職氏名	健康推進部長 河村香代子 健康推進部次長 中村 孝 健康推進部参事兼所長 糟谷 寿孝 地域保健課長 晝間 拓哉 健康推進部副参事 今井 文香 地域保健課 主幹 江浦 勇人 地域保健課 主幹 菅野優美子 地域保健課 主幹 島田 英子 地域保健課 副主幹 設楽久美子 地域保健課 副主幹 山川 久子 地域保健課 副主幹 今藤 明子 地域保健課 副主幹 岡田紀代美
会 議 次 第 (公開・非公開の別)	1 開会 2 会長あいさつ 3 議題「第4次健康いるま21計画の策定について」 4 閉会
非 公 開 理 由	
傍 聴 者 数	なし
配 布 資 料	第4次健康いるま21計画の策定について(案) 【資料1】「目標の再設定」について 【資料2】質問に対する回答について 【資料3】今後のスケジュールについて
事務局職員職氏名	健康管理課長 木下 義幸 健康管理課 主幹 松本 智 健康管理課 主事 宇野 里実 健康管理課 主事 九住有梨華
会議録作成方法	要点筆記

会 議 録 (2)

議 事 の 概 要 (経 過) ・ 決 定 事 項

1 議 題

第4次健康いるま21計画の策定について

- ①「目標の再設定」について【資料1】説明
- ②「第8章 ライフステージに応じた健康づくり」について
取組一覧「たばこ・アルコール」について文言を検討し、「たばこの健康被害を知り、禁煙する」と決定した。
- ③「第9章 健康を支える環境づくり」について説明
- ④質問に対する回答について【資料2】説明
- ⑤今後のスケジュールについて【資料3】説明

2 その他

次回の日程について報告した。

会 議 録 (3)

発 言 者	発 言 内 容
司会 (健康管理課主幹)	開会 (省略)
山本会長	会長あいさつ (省略)
司会	出席委員数報告 14名 会議成立報告 (入間市健康福祉センター運営協議会条例第6条第2項) 議事進行依頼 (入間市健康福祉センター運営協議会条例第6条第1項)
議長	会議録署名を竹下委員に依頼 次第3 議題 第4次健康いるま21計画の策定について ① 「目標の再設定」について、事務局へ説明依頼
地域保健課主幹	【資料1】目標の再設定について 国の健康日本21計画を踏まえ、市の計画を12年計画とすることに伴い、目標値の設定を令和10年から令和16年の数値に見直すことを説明した。
議長	質疑応答
丸藤委員	【資料1】目標の再設定について、第4次健康いるま21計画の36ページにロコモティブシンドロームとフレイルについて新しく目標を設定した理由は。
地域保健課副主幹	ロコモティブシンドロームとフレイルに関しては市の健康実態調査でも認知度を質問事項としている。国の中間報告でもこれらの用語が使われており、県では市と同様に認知度について調査項目としている。健康寿命の延伸に関する重要な用語となるため、市として新しく認知度を目標設定した。
議長	②「第8章 ライフステージに応じた健康づくり」について、事務局へ説明依頼
地域保健課主幹	第4次健康いるま21計画 (案) 119ページについて 縦軸を分野、横軸を世代とし、ライフステージに応じた市民一人ひとりの取組のポイントを説明した。また、策定職員の中で、たばこの分野におけるポイントの文言「たばこの健康被害を知り、禁煙する」について「禁煙する」という表現は厳しいのではないかという意見が出たため、協議を依頼。案として1. 「禁煙する」2. 「禁煙を心がける」3. 「禁煙を意識して生活する」4. 「生活習慣病を予防する」という四択を提示した。
議長	119ページ取組一覧「たばこ・アルコール」文言について協議する 質疑応答

発 言 者	発 言 内 容
藤牧委員	「禁煙・減煙する」ではどうか。
議長	意見を踏まえ、選択肢に5. 「禁煙・減煙」を追加し、五択とする。
委員一同	多数決の結果、1. 「禁煙する」を採決
議長	承認 承認したことを宣言 ③「第9章 健康を支える環境づくり」について、事務局へ説明依頼
地域保健課主幹	第4次健康いるま21計画（案）第9章より、趣旨、目標と取組について説明した。
議長	質疑応答
岩崎委員	122 ページにおいて「居住地で住民同士のつながりがあると思う人の割合」が「47.1 パーセント」とあるが、出典元である市民健康実態調査の39 ページを見ると「住民同士のつながりの必要性を感じる人の割合」の数字が「47.1 パーセント」となっている。市民健康実態調査の「住民同士のつながりがあると思う人の割合」は「39.1 パーセント」となっているが、使用すべきはこちらの数値ではないのか。
地域保健課主幹	122 ページの「居住地で住民同士のつながりがあると思う人の割合」は、市民健康実態調査の「住民同士のつながりがあると思う人の割合」の回答において「強くそう思う」と「どちらかといえばそう思う」の回答数値を合計した「47.1 パーセント」を使用している。
山本委員	市民が出典を確認できるよう、合計した数値を使用する場合はその旨を明記して欲しい。
議長	④質問に対する回答について、事務局へ説明依頼
地域保健課主幹	【資料2】④質問に対する回答について分野ごとに説明した。
議長	質疑応答
大阪委員	ライフステージごとの運動習慣について、スポーツをしたい人に対し、どのようなスポーツを好むのか、地域によって特性があるか調査した結果はあるか。また、市民健康実態調査等で大きく調査をかける予定は。
地域保健課副主幹	運動教室等、地域での個々の活動の中で聴き取りを行っているが、地域ごとでの特別な傾向は今のところ見られない。市民健康実態調査は同じ質問を続けることによるデータの蓄積を主目的としている為、追加する予定は無い。今後も機会を捉えてデータ収集に努める。
地域保健課主幹	【資料2】において、要綱や条例を巻末に掲載するのはどうか、という

発 言 者	発 言 内 容
	意見があったため協議を依頼。事務局としては、章ごとに編入する現行案のままとしたい旨を説明した。
議長	質疑応答
藤牧委員	章ごとにフォントや行間等が不揃いに見えるが、校正はされるのか。また、要綱等を章ごとに編入するか、巻末に編入するかについては、名簿が途中に入っている場合には違和感を覚えるため、その場合は巻末の方が良い。
地域保健課長	フォントや行間等について、次回の最終確認の前には校正後の資料を提供する。
議長	要綱や条例を章ごとに掲載するか、巻末に掲載するか協議する。
委員一同	多数決の結果、巻末に掲載することに採決
議長	承認 承認したことを宣言 ⑤今後のスケジュールについて、事務局へ説明依頼
地域保健課長	【資料3】策定スケジュールについて、5回目会議で9月下旬と記載していたものを9月27日に変更。次回の会議で全体を通して何かあれば審議を行い、10月に庁内意見聴取、11月からパブリックコメント、1月中旬に答申の予定と説明した。
議長	質疑応答 計画全般について意見聴取 質疑応答 議事が終了したことを宣言 議長退任
司会	次第4 その他について
健康福祉部副参事	新型コロナウイルスワクチン秋開始接種のお知らせについて
健康管理課長	次回の日程について 開催通知、資料の送付方法（電子メール）について 電子メールアドレス登録依頼
金子副会長	閉会あいさつ（省略）
司会	令和5年度 第2回健康福祉センター運営協議会終了

発 言 者	発 言 内 容
	<p>議事のでん末・概要を記載し、その相違なきことを証するためここに署名する。</p> <p>令和 5年 9月 20日</p> <p>議 長 の 署 名 _____ 山 本 寛 _____</p> <p>議長が指名した者の署名 _____ 竹 下 郁 代 _____</p>